



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東  
 コード番号 9994 URL https://www.yamaya.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114  
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年11月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	78,270	△1.6	1,301	△46.6	1,320	△46.9	746	△51.8
2025年3月期中間期	79,570	△0.7	2,434	△5.3	2,485	△4.9	1,548	4.1

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 1,188百万円(△33.6%) 2025年3月期中間期 1,790百万円(6.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	68.84	—
2025年3月期中間期	142.82	—

(参考) EBITDA 2026年3月期中間期 1,948百万円(△37.5%) 2025年3月期中間期 3,119百万円(△4.5%)

\*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	62,832	38,179	57.2
2025年3月期	66,942	37,330	52.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 35,963百万円 2025年3月期 35,256百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2026年3月期	—	37.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	38.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当2円00銭（会社設立55周年記念配当）

2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当3円00銭（会社設立55周年記念配当）

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,340	△0.5	3,400	△37.3	3,400	△38.9	1,960	△46.2	180.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	10,847,870株	2025年3月期	10,847,870株
2026年3月期中間期	6,426株	2025年3月期	6,426株
2026年3月期中間期	10,841,444株	2025年3月期中間期	10,841,485株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

#### [事業全般の概況]

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等により、景気は緩やかに回復基調とはなったものの、継続する物価上昇や米国の関税政策の影響による景気下振れリスクの高まりを受け、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社はおかげさまで会社設立55周年を迎えることとなり、「より良いものを、より安く」の理念を実践し、価値あるものを、より多くのお客様にお届けできるよう取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間における当社グループ連結業績は、売上高が782億70百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益が13億1百万円(同46.6%減)、経常利益が13億20百万円(同46.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益が7億46百万円(同51.8%減)となりました。

新規出店及び改装が計画どおり進まなかったこと、酒販事業では、4月に酒類、食品のメーカー値上げが相次ぎ、昨年の大容量ウイスキー値上げ前のまとめ買いの反動、インバウンドの高額洋酒の販売が減少したことも影響し、売上高、売上総利益は前年を下回りました。また、人件費など諸経費の上昇が想定を上回ったこともあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益についても減少しました。

当中間連結会計期間末において、酒販事業353店(前年同期比1店減)、外食事業599店(同21店減)、グループ合計店舗数952店(同22店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### [酒販事業]

酒販事業における売上高は641億91百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益は10億43百万円(同43.7%減)となりました。

当中間連結会計期間は、大阪・関西万博に合わせて開催した「やまや万博」では、日本全国のおいしいものや、東欧ワインの品揃えを強化するなど、選んで楽しい売場を演出し、お客様にご好評いただきました。インバウンド需要への対応として、やまやでしか買えない輸入商品や国産のこだわりの品、地元限定品といった商品をアピールしました。お米の価格が高騰し、政府備蓄米の販売はお客様に好評で、お米をギフトとしてもご利用いただけるよう準備しました。猛暑への対応として、飲料のケース販売を強化、ノンアルコールを含めたカクテル提案、水害などの災害に備えるために、防災備蓄ギフトの展開も行いました。

新規出店として、南岩国店(山口県)、三条店(新潟県)を開店し、福津店(福岡県)、梅津店(京都府)を閉店しました。これにより、2025年9月末における酒販事業の総店舗数は、353店(前年同期比1店減)となりました。

#### [外食事業]

外食事業における売上高は142億76百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は2億54百万円(同55.9%減)となりました。

外食業界におきましては、回復基調が続いていますが、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は根強く、原材料費、光熱費、人件費、建築費の上昇により、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、とりわけ居酒屋業態は、大きな影響を受けております。

このような状況の中、チムニー株式会社では、「春の鰹まつり」、「夏の元気祭りフェア」など季節を体感していただけるフェアを開催、料理家とのコラボメニューもご用意し、ご好評をいただきました。また、国内旅行団体やご宴会の予約は、順調に推移しました。

株式会社つぼ八では、「つぼ八北野通り店」、「つぼ八伏古店」を新規開店し、北野通り店は居酒屋と焼肉を同時に楽しめる点が特徴でファミリー層に人気があり、伏古店はランチ営業や昼飲み需要の取り込みにより新たな客層を獲得しています。

店舗開発としましては、建設コスト上昇などの影響で当初計画を下回りましたが、直営店7店(チムニー5店、つぼ八2店)を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。

2025年9月末の外食事業直営店は、チムニーが319店、つぼ八が8店の計327店(前年同期比3店減)、外食FC店は、チムニーが142店、つぼ八が130店の計272店(同18店減)となり、外食事業の総店舗数は、599店(同21店減)となりました。

#### (2) 当中間期の財政状態の概況

##### ①資産、負債及び純資産の状況

###### (資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べ41億9百万円(△6.1%)減少し、628億32百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が34億13百万円、売掛金が15億8百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて50億28百万円(△11.5%)減少し、387億31百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて9億19百万円(4.0%)増加し、241億1百万円となりました。

###### (負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて49億58百万円(△16.7%)減少し、246億53百万円となりました。

流動負債は、買掛金が45億32百万円、短期借入金が4億円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて39億27百万円(△17.4%)減少し、185億94百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて10億30百万円(△14.5%)減少し、60億58百万円となりました。

###### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて8億48百万円(2.3%)増加し、381億79百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7%から57.2%となりました。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前連結会計年度末と比べて3億17百万円 (2.5%) 増加し、129億5百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、前年同期と比べ24億16百万円増加し、24億42百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前中間純利益が12億33百万円、売上債権の減少が15億8百万円、棚卸資産の減少が34億10百万円、仕入債務の減少が45億32百万円あったこと等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は、前年同期と比べて3億82百万円増加し、11億41百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が10億53百万円あったこと等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、前年同期と比べて1億30百万円増加し、9億83百万円となりました。

主な要因は、短期借入金の返済による支出が4億円、配当金の支払額が2億92百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2025年10月14日に公表した数値からの変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,588	12,906
売掛金	6,465	4,957
商品及び製品	22,535	19,122
仕掛品	68	73
原材料及び貯蔵品	34	33
前払費用	883	822
その他	1,381	974
貸倒引当金	△198	△158
流動資産合計	43,760	38,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,602	29,957
減価償却累計額	△24,292	△24,471
建物及び構築物 (純額)	5,309	5,486
機械装置及び運搬具	1,625	1,629
減価償却累計額	△1,513	△1,528
機械装置及び運搬具 (純額)	112	100
工具、器具及び備品	9,848	9,929
減価償却累計額	△9,085	△9,153
工具、器具及び備品 (純額)	762	776
リース資産	1,738	1,886
減価償却累計額	△1,488	△1,500
リース資産 (純額)	250	386
土地	4,618	4,819
建設仮勘定	15	203
有形固定資産合計	11,068	11,773
無形固定資産		
ソフトウェア	47	57
のれん	1,314	1,239
その他	16	16
無形固定資産合計	1,378	1,314
投資その他の資産		
投資有価証券	910	1,109
関係会社株式	1,043	1,235
破産更生債権等	66	60
長期前払費用	128	149
差入保証金	6,931	6,908
退職給付に係る資産	66	71
繰延税金資産	1,595	1,490
その他	55	47
貸倒引当金	△63	△60
投資その他の資産合計	10,735	11,014
固定資産合計	23,182	24,101
資産合計	66,942	62,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,525	8,992
短期借入金	3,100	2,700
1年内返済予定の長期借入金	467	1,467
リース債務	22	33
未払金	1,847	1,785
未払費用	949	867
未払法人税等	745	371
未払消費税等	420	735
預り金	251	253
賞与引当金	758	721
その他	433	667
流動負債合計	22,522	18,594
固定負債		
長期借入金	2,968	1,734
退職給付に係る負債	339	352
リース債務	249	389
役員退職慰労引当金	692	713
資産除去債務	1,560	1,570
その他	1,279	1,298
固定負債合計	7,089	6,058
負債合計	29,611	24,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	25,670	26,124
自己株式	△9	△9
株主資本合計	34,724	35,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532	785
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	532	785
非支配株主持分	2,074	2,216
純資産合計	37,330	38,179
負債純資産合計	66,942	62,832



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	79,570	78,270
売上原価	56,522	56,098
売上総利益	23,047	22,172
販売費及び一般管理費	20,613	20,871
営業利益	2,434	1,301
営業外収益		
受取利息	3	13
受取手数料	38	39
受取配当金	12	16
持分法による投資利益	23	—
その他	42	27
営業外収益合計	119	96
営業外費用		
支払利息	39	42
店舗改装費用	12	21
持分法による投資損失	—	4
その他	17	8
営業外費用合計	68	77
経常利益	2,485	1,320
特別利益		
受取補償金	68	71
受取保険金	—	56
特別利益合計	68	128
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	5
減損損失	59	177
その他	22	31
特別損失合計	84	214
税金等調整前中間純利益	2,469	1,233
法人税、住民税及び事業税	570	336
法人税等調整額	48	△17
法人税等合計	618	319
中間純利益	1,850	914
非支配株主に帰属する中間純利益	302	168
親会社株主に帰属する中間純利益	1,548	746

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,850	914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	273
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△59	274
中間包括利益	1,790	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,512	999
非支配株主に係る中間包括利益	278	189

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	2,469	1,233
減価償却費	519	510
長期前払費用償却額	10	13
減損損失	59	177
固定資産売却損益 (△は益)	0	—
固定資産除却損	1	5
受取補償金	△68	△71
受取保険金	—	△56
のれん償却額	75	75
持分法による投資損益 (△は益)	△23	4
支払利息	39	42
受取利息及び受取配当金	△15	△29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30	△42
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52	△36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	21
売上債権の増減額 (△は増加)	694	1,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△466	3,410
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,488	△4,532
未払金の増減額 (△は減少)	△589	△62
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△152	314
その他	△74	516
小計	916	3,013
利息及び配当金の受取額	14	28
受取補償金の受取額	68	71
受取保険金の受取額	—	51
法人税等の還付額	0	1
利息の支払額	△37	△43
法人税等の支払額	△921	△667
その他	△15	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	25	2,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△775	△1,053
有形固定資産の売却による収入	0	—
有形固定資産の除却による支出	△56	△45
貸付金の回収による収入	19	—
長期前払費用の取得による支出	△25	△31
差入保証金の差入による支出	△67	△121
差入保証金の回収による収入	135	99
預り保証金の返還による支出	△33	△25
預り保証金の受入による収入	60	47
その他	△15	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△758	△1,141

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,360	△400
長期借入金の借入による収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△125	△233
リース債務の返済による支出	△16	△9
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△303	△292
非支配株主への配当金の支払額	△47	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△852	△983
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,586	317
現金及び現金同等物の期首残高	13,539	12,588
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,952	12,905

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,331	14,238	79,570	—	79,570
セグメント間の内部 売上高又は振替高	177	—	177	△177	—
計	65,508	14,238	79,747	△177	79,570
セグメント利益	1,853	576	2,429	4	2,434

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において27百万円、「外食事業」において32百万円であります。

## II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計 算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,993	14,276	78,270	—	78,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	198	—	198	△198	—
計	64,191	14,276	78,468	△198	78,270
セグメント利益	1,043	254	1,297	3	1,301

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において97百万円、「外食事業」において79百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	11,953百万円	12,906百万円
別段預金	△0	△0
現金及び現金同等物	11,952	12,905